



期末考査です。

来週から1学期期末考査が始まります。3年生にとっては**仮評定**が関わる大事なテストです。

評定平均値とは高1、高2のすべての評定、高3の1学期の仮評定をすべて合計し、科目数で割った値です。

これは、就職・進学試験の出願時に提出する「調査書」に記載される他、推薦入試の出願条件として「評定平均〇〇以上」と指定される場合もあります。また、奨学金採用決定の際の条件の一つになることもあります。

進路先・受験先の探し方

進路先を考える際に次のサイトを参考にしてください。

① マナビジョン(ベネッセ)

<https://manabi.benesse.ne.jp/>

これは、大学調べ、オープンキャンパス、職業調べが、簡単にできます。また進研模試等とリンクしているので、自分の模試成績や合否判定等有益な情報がたくさんあります。ベネッセなので情報の信頼度が高いです。

② 大学受験パスナビ(旺文社)

<https://passnavi.obunsha.co.jp/>

教室にある『蛍雪時代』の出版社である旺文社のサイトです。学部学科、学費、オープンキャンパス情報、入試科目配点、倍率、出願、所在地、奨学金、英検利用、入試日程、合格最低点、過去問など大学情報を網羅しています。

③ EIBI進学ナビ <https://www.eibi-navi.com/>

こちらも大学調べで便利です。特に便利なのは、総合型選抜・学校推薦型選抜についての情報が、入手しやすいです。

先輩のアドバイス

・高校3年間における課外活動「にしのおもて未来ワークショップ」などに全力で取り組んできた。これらの活動で得た知識「地域学」「エネルギー学」や「他者から意見を引き出すためのコミュニケーション」は大学入試で最大に活かされたとともに、人生設計における最大の経験となった。

・進路が固まっていなくても毎日目標を決めて勉強をすべきである。わたしはやる気スイッチは存在しないと思う。3年生になったら受験モードになると思っていたら大きな間違いだと思う。直近のテストや模試のことを考えて取り組むと自分の勉強イメージがつくと思う。

・努力が報われるかはわからないけれど、努力することで必ず得られるものがある。

・早めに、クラス全体で勉強するという雰囲気を作り、協力して受験に挑戦できるといい。

・推薦入試で大事なことは、受験対策と勉強の両立をすることと、入試を終えて合格発表までの期間は切り替えが命だ。今は勉強する癖、勉強に必要な体力、集中力を鍛える。目の前のことから「やれるだけやってみる」精神。

・3年生の6月になってもなかなか進路が決まらず自分のやりたいことが何かも分からずに進路決定をずっと後回しにしていました。2年生段階で周りのみんなが進路を決め、受験を意識していく中、私は部活やボランティアが忙しいと自分で言い訳を作り自分の将来から逃げていました。(略)高校の3年間は中学校の3年間と比べ物にならないくらいあっという間に過ぎます。まだ1年生だし、まだ2年生だし、と私も思っていました。その余裕が後々自分を苦しめることになります。

・私は心配性で緊張しやすい性格であったため、30回以上、13人の先生方に面接練習に協力していただきました。担任や副担任、教科担任の先生方だけでなく、全く面識のない先生や自分の話したい分野に詳しい先生方にも、指導をお願いしたことで、さまざまな視点のアドバイスや考えをえられました。

・私は、自分の考えを論理的に述べ、アイデアを提案するのが苦手でした。自分の考えを書いた時に先生に何度も「ありきたり」と言われました。だからもっと知識を蓄え、広い視野で物事を考えることをすればよかったと思いました。

・私は受験勉強するにあたって、勉強時間を決めずに集中力が切れたら休憩して、なんとなく勉強している時間なるべく減らしました。また、共通テストでは大学で使う教科は全部できるだけ勉強した方がいいと思います。

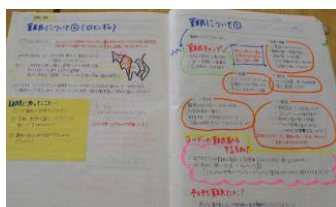
・受験を通して伝えたいことは、自分の進路選択について早いうちから向き合い、家族や先生方とたくさん話すことです。進路先が決まらなると目標が定まらないのでなかなか勉強が手につきません。そして、自分に甘えないことも必要不可欠だと思います。

どうですか？先輩たちの実体験に基づいた、魂の言葉です。

進学資料室の使い方

進学資料室には、進路関係の資料があります。大学などのパンフレット、赤本(大学過去問)、先輩方の進路ノート(小論文、グループディスカッション、面接対策)、新聞切り抜きなどなど。

※閲覧・使用する際には、進路の先生に申し出ましょう。



名言あれこれ

●自分にはできないかも知れないという恐れに真正面から立ち向かうたびに、あなたは強さと自信と経験を勝ち取るのです。だから、できないと思うことに挑戦してごらんなさい。- エレノア・ルーズベルト(米国大統領夫人、世界人権宣言の起草者)

●方法は見つかる。なければ作る。I will either find a way or make one. ハンニバル(カルタゴの将軍。共和政ローマを相手に戦った)

●「逃げない人を、人は助ける」(パ・リホーディング) 取締役会長 篠原欣子)

●人生の最大の喜びは、あなたにできない、と言われたことをすることだ (イギリスのジャーナリスト:ウォルター・バジョット)

●人生は道路のようなものだ。一番の近道は、たいてい一番悪い道だ。——フランシス・ベーコン (英国の哲学者、神学者、法学者 / 1561~1626)

●自分に勝てない人間が、勝とうなんて甘い。(ボクサー 辰吉丈一郎)

●自分は大した人間ではないと思うな。そんなことは決して考えるな。他人からそんなものだと思われてしまう。(イギリスの作家 アンソニー・トロロープ)

●楽天主義こそ一切を成功に導く信念である。希望がなければ何事も成就するものではない。(視力・聴力・言語の三重苦の作家 ヘレン・ケラー)

●どうにも乗り越えられない障害にぶつかった時は、頑固さほど役に立たないものはない。~「ブレない人」とは、信念のために躊躇なく変われる人~ (フランスの作家、哲学者 ボーヴォワール)

●一番大切なことは、単に生きることではなく、善く生きることである。ソクラテス (古代ギリシアの哲学者 / 紀元前470~399)

●Determine that the thing can and shall be done, and then we shall find the way.

そのことはできる、それをやる、と決断せよ。それから方法を見つけるのだ。エイブラハム・リンカーン(アメリカの第16代大統領)

●難問は分割せよ。ルネ・デカルト/フランスの哲学者、数学者

●親切にしないで。あなたが会う人はみんな、厳しい闘いをしているのだから。Be kind, for everyone you meet is fighting a harder battle.

—— プラトン(古代ギリシアの哲学者)

●私は何事も最悪の事態を想定することから始める。
- ナポレオン・ボナパルト -(フランスの皇帝、政治家、軍人 / 1769~1821)

※ 心に響く言葉がありましたか。

国立大学合同説明会

九州地区の10国立大学が一挙に集結! 参加予約不要!

九州地区国立大学 合同説明会2025 +個別相談会

参加無料 入場自由

最適な進路を見つける、はじめの一歩に

HOME	7.13 福岡会場 日程・会場詳細はこちら	7.21 鹿児島会場 日程・会場詳細はこちら	お問合わせ
------	--------------------------	---------------------------	-------

大学説明会 (11:00~16:00)
各大学のパンフレットや資料が大学関係者から提供され、各大学が個別相談ブースを設けて大学選びに活用しよう!

各大学個別相談ブース (11:00~16:00)
各大学の専攻や入試科目など詳細な資料が揃った個別相談ブースが設けられて、個別に大学選びが!

来場者特典!
九州地区国立大学 ガイドブック プレゼント!

7/21(月・祝) Li-ka 南国ホール(鹿児島中央駅横)
九州地区国立大学(福岡教育大、九大、九工大、佐賀大、長崎大、熊本大、大分大、宮崎大、鹿児島大、鹿屋体大)の合同説明会があります。ぜひ参加しましょう。